

nanoKONTROL Studio Control Surface plug-in for GarageBand/Logic 取扱説明書

J 2

本プラグインについて

nanoKONTROL Studio Control Surface plug-in for GarageBand/Logicは、Apple GarageBand/LogicでnanoKONTROL Studioを動作させるためのプラグインです。

nanoKONTROL Studio側の細かい設定は一切不要です。本プラグインをお使いのMacにインストールするだけで抜群の操作性を提供します。

動作環境

GarageBand バージョン10以降、Logic Pro X以降
上記ソフトウェアの動作環境を満たす Mac本体とOS X

インストールの前に

- ワイヤレス接続する場合は、MacにUSBでは接続しないでください。

インストール方法

GarageBand、Logic Pro Xを起動している場合は終了します。インストーラー (nanoKONTROL Studio CSPlugIn.pkg) を起動し、表示される指示に従ってインストールしてください。

アンインストール方法

以下の手順でアンインストールします。

GarageBandをご使用の場合

- 以下のファイルとフォルダを削除してください。

/アプリケーション/KORG/nanoKONTROL Studio Control Surface plug-in

ユーザー・フォルダ内のライブラリ

/Containers/com.apple.garageband10/Data/Library/Preferences/com.apple.garageband10.cs

/ライブラリ/Application Support/MIDI Device Plug-ins/nanoKONTROL Studio.bundle

Logic Pro Xをご使用の場合

1. Logic Pro Xのメニューから「環境設定」-「詳細ツール...」を選択して環境設定ウィンドウを開き、「追加オプション」の「コントロールサーフェス」のチェックをオンにします。
2. Logic Pro Xのメニューから「Logic Pro X」-「コントロールサーフェス」-「設定...」を選択してコントロールサーフェス設定ウィンドウを開きます。nanoKONTROL Studioのアイコンをクリックして選択し、キーボードの[delete]キーを押してnanoKONTROL Studioの情報を削除してください。
3. nanoKONTROL Studioの情報を削除後、Logic Pro Xを終了してから以下のファイルとフォルダを削除してください。

/アプリケーション/KORG/nanoKONTROL Studio Control Surface plug-in

/ライブラリ/Application Support/MIDI Device Plug-ins/nanoKONTROL Studio.bundle

GarageBand

Transport		Function	
Cycle	サイクル・モード	Marker Set	(設定なし)
◀◀	巻き戻し	Marker ◀	
▶▶	早送り	Marker ▶	
◀	先頭に移動	Track ◀	前のフェーダー・バンク
■	停止	Track ▶	次のフェーダー・バンク
▶	再生または停止	Jog Wheel	再生ヘッド
●	録音		

	1	2	3	4	5	6	7	8
Knob	Pan 1	Pan 2	Pan 3	Pan 4	Pan 5	Pan 6	Pan 7	Pan 8
Slider	Volume 1	Volume 2	Volume 3	Volume 4	Volume 5	Volume 6	Volume 7	Volume 8
Solo	Solo 1	Solo 2	Solo 3	Solo 4	Solo 5	Solo 6	Solo 7	Solo 8
Mute	Mute 1	Mute 2	Mute 3	Mute 4	Mute 5	Mute 6	Mute 7	Mute 8
Rec	録音を可能にする 1	録音を可能にする 2	録音を可能にする 3	録音を可能にする 4	録音を可能にする 5	録音を可能にする 6	録音を可能にする 7	録音を可能にする 8
Select	選択 1	選択 2	選択 3	選択 4	選択 5	選択 6	選択 7	選択 8

操作対象となるトラックについて

選択しているFader Bankから最大8トラックを操作可能です。図1では、アイコンの左側に線が入っている8つのトラックが操作対象です。

nanoKONTROL StudioのTrack ◀ボタン、Track ▶ボタンを操作することで、8トラック単位で操作対象を切り換えることができます。例えば、操作対象がトラック1～8のときにTrack ▶ボタンを押すと、操作対象がトラック9～16になります。

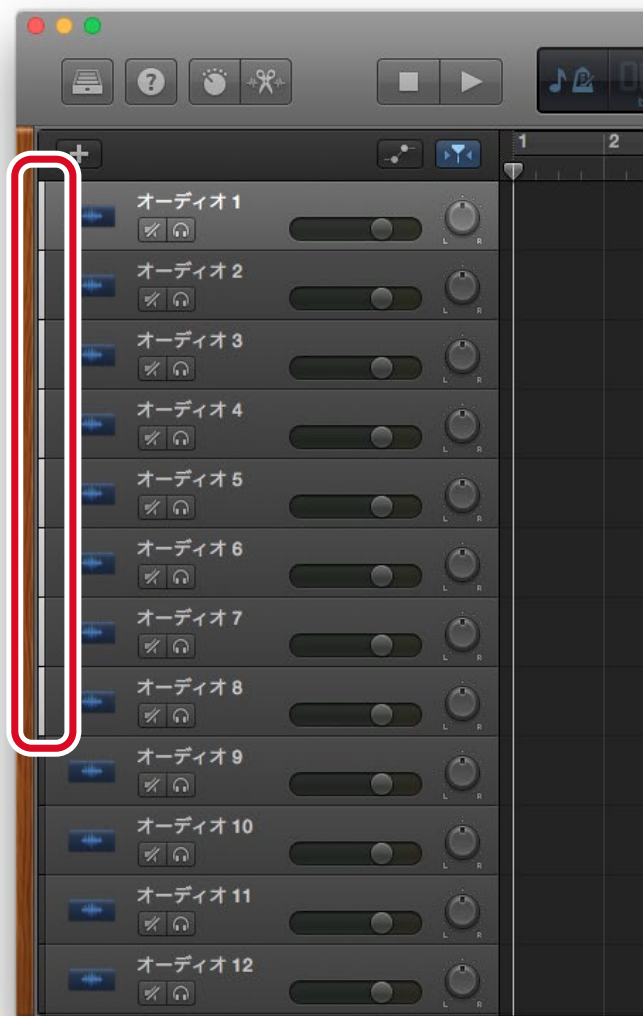


図1. GarageBandメイン画面 (GarageBand バージョン10)

Transport		Function	
Cycle	サイクル・モード	Marker Set	マーカーを作成
◀◀	巻き戻し	Marker ◀	前のマーカーに移動
▶▶	早送り	Marker ▶	次のマーカーに移動
◀	先頭に移動	Track ◀	前のフェーダー・バンク
■	停止	Track ▶	次のフェーダー・バンク
▶	再生または停止	Jog Wheel	再生ヘッド
●	録音		

	1	2	3	4	5	6	7	8
Knob	Pan 1	Pan 2	Pan 3	Pan 4	Pan 5	Pan 6	Pan 7	Pan 8
Slider	Volume 1	Volume 2	Volume 3	Volume 4	Volume 5	Volume 6	Volume 7	Volume 8
Solo	Solo 1	Solo 2	Solo 3	Solo 4	Solo 5	Solo 6	Solo 7	Solo 8
Mute	Mute 1	Mute 2	Mute 3	Mute 4	Mute 5	Mute 6	Mute 7	Mute 8
Rec	録音を可能にする 1	録音を可能にする 2	録音を可能にする 3	録音を可能にする 4	録音を可能にする 5	録音を可能にする 6	録音を可能にする 7	録音を可能にする 8
Select	選択 1	選択 2	選択 3	選択 4	選択 5	選択 6	選択 7	選択 8

操作対象となるトラックについて

選択しているFader Bankから最大8トラックを操作可能です。図2では、アイコンの左側に白い線が入っている8つのトラックが操作対象です。

nanoKONTROL StudioのTrack ◀ボタン、Track ▶ボタンを操作することで、8トラック単位で操作対象を切り換えることができます。例えば、操作対象がトラック1～8のときにTrack ▶ボタンを押すと、操作対象はトラック9～16になります。

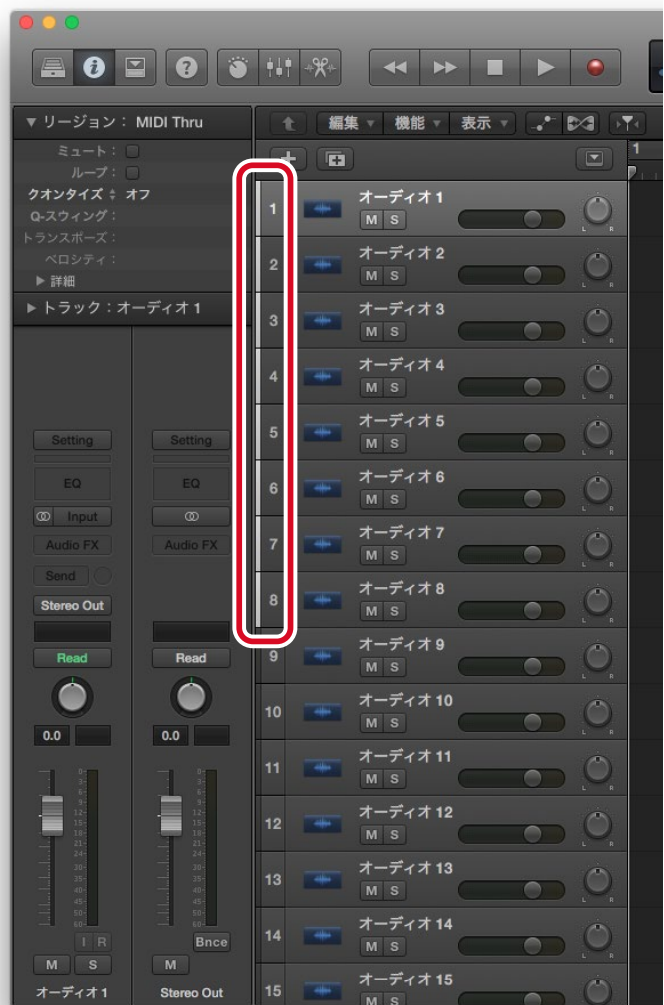


図2. Logic Proメイン画面 (Logic Pro X)

注意事項

- GarageBand、Logic Pro Xを起動中は、KORG KONTROL Editorを起動しないでください。
- GarageBand、Logic Pro Xを起動中にnanoKONTROL Studioの接続を解除したり、コンピューターがスリープしたりすると、GarageBand、Logic Pro Xをコントロールできなくなる場合があります。その場合は、GarageBand、Logic Pro Xを再起動してください。
- 複数のnanoKONTROL Studioを接続して使用することはできません。
- 正常にコントロールできなくなった場合は、以下の操作で元に戻すことができます。
 1. Logic Pro Xを終了し、接続を解除したnanoKONTROL Studioを再度接続してからLogic Pro Xを起動します。
 2. メニューから「環境設定」－「詳細ツール...」を選択して環境設定ウィンドウを開き、「追加オプション」の“コントロールサーフェス”のチェックをオンにします。
 3. メニューから「Logic Pro X」－「コントロールサーフェス」－「設定...」を選択してコントロールサーフェス設定ウィンドウを開きます。
 4. 表示されているnanoKONTROL Studioのアイコンを選択し、それぞれ適切なMIDIポートを選択し直してからLogic Pro Xを再起動してください。

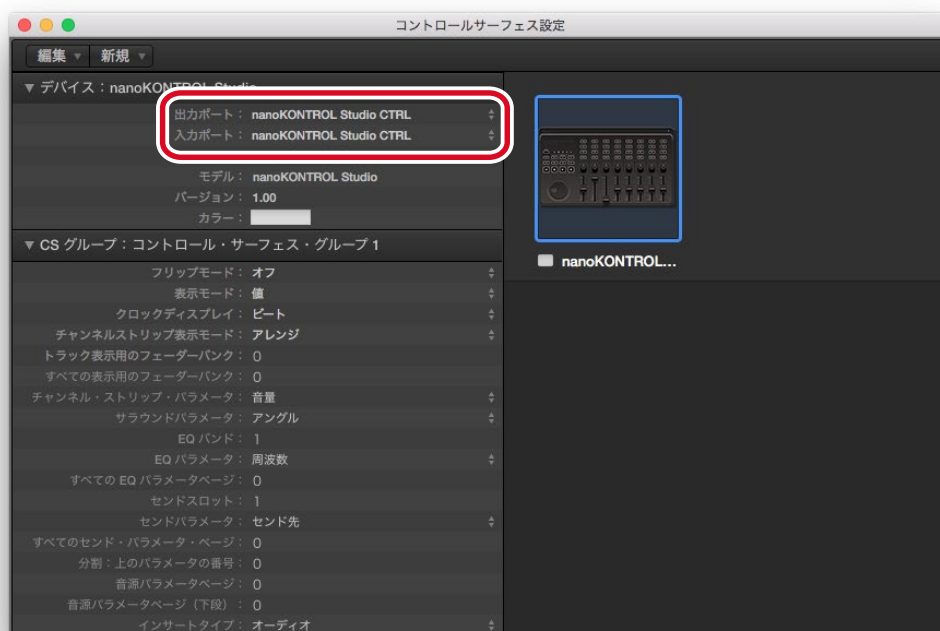


図3. コントロールサーフェス設定画面 (Logic Pro X)

上記の操作でも直らない場合、コントロールサーフェス設定ウィンドウでnanoKONTROL Studioを選択して[delete]キーを押してnanoKONTROL Studioの情報を削除した後、Logic Pro Xを再起動してください。

- ワイヤレス接続する場合は、MacにUSBでは接続しないでください。MacにUSB、ワイヤレスの両方で接続されていると、正常に動作しません。